

令和 7 年第 5 回真庭市教育委員会会議録

会 議 種 類	定例会	
開 催 年 月 日	令和 7 年 4 月 2 5 日（金）	
開会及び閉会 時 刻	開会時刻	9 : 3 0
	閉会時刻	1 0 : 4 0
場 所	真庭市役所教育委員室	
会議録署名者	教 育 長 三ツ 宗宏	
	署名委員 高谷 絵里香	
会議録作成者	教育総務課 係長 矢萩 志保	

1 出席委員

職 名	氏 名	備 考
教 育 長	三 ツ 宗 宏	
教育長職務代理者	常 本 直 史	
委 員	徳 山 周 一	
委 員	高 谷 絵里香	
委 員	和 田 ひろみ	

2 出席した者

職 名	氏 名	備 考
教 育 次 長	浅 野 晃 彦	
教 育 総 務 課 長	中 川 晃 吉	
学校給食推進室長	三 浦 宮 子	
学 校 教 育 課 長	田 中 裕 恵	
生涯学習課課長	福 井 学	
図 書 館 振 興 室 長	佐 藤 弘 敏	
学校教育課課長補佐	川 村 光 子	
教育総務課係長	矢 萩 志 保	

3 傍聴人

0 名

4 議事日程

日程	案 件	結 果
	開 会	
第 1	教育長あいさつ	三ツ教育長
第 2	署名委員の指名について	高谷委員
第 3	教育長諸報告	浅野教育次長
第 4	付議事件	
	議案第 1 1 号 令和 7 年度真庭市教育基本方針について	修正可決
	議案第 1 2 号 真庭市学校運営協議会の設置及び委員の任命について	原案可決
	議案第 1 3 号 保有個人情報の不開示決定処分に対する審査請求に係る裁決について	原案可決
	議案第 1 4 号 保有個人情報の一部開示決定処分に対する審査請求に係る裁決について	原案可決
第 5	その他	
第 6	閉 会	

5 議事の概要

(9時30分 開会)

○三ツ教育長

これから第5回教育委員会を開催いたします。以下、議事日程に従って進めてまいります。日程第一、教育長挨拶です。

新年度が始まってまもなく一ヶ月ということで、学校の方は今中学校でちょうど修学旅行が多い感じですね。沖縄方面で。そして、PTA 総会が行われています。小さい問題はあるみたいですが、それぞれいいスタートが切れたというふうな話を聞いております。出会いの時ってというのはワクワクするし、この集団でうまくやっていきたいなっていう思いが強い時なんで、それをうまく乗り切って、次に続けていってほしいなと願っているところであります。

昨日、市長が初登庁でした。その時の話の中で、少子化、人口減少が非常に進んでいる。その中でできるだけこれを緩やかにしていかなきゃいけないという話がありました。では、緩やかにしていくっていても、いろんな方法あるのですが、まずはやっぱりいろんな種が変わらないと生き延びていけない。だからやっぱりみんなが学んで変わるべきは変わっていくってことが本当大事だと感じました。同時に、少々人数が減っても元気で活気のある真庭でありたい、そうしていこうという話がありました。

昨日、落合白梅大学に出席しました。高齢者の方々の学ぶ場ですが、本当にみなさん元気なんですね。そして笑顔が多いんです。また、反応がとっても返ってくるんで、前で喋っていてもとっても楽しい。やっぱりこう人がつながるとか、学ぶとか、そこで一緒にやるとかっていうのは、元氣と活気の根幹だと、ある意味、これは生涯学習の根幹だと思ってます。これからの時代は確かな答えがないし、将来の見通しがなかなか立たないですが、まずは身近なところで人がつながって、学んだり楽しんだりするということを、教育という分野ではありますが大事にしていきたいということを改めて感じたところであります。

今日も様々な事項について、ご審議をいただきますが、どうぞよろしくお願い

いします。それでは、日程第二です。署名委員の指名についてですが、今日は高谷委員さんお願いします。

○高谷委員

はい。

○三ツ教育長

よろしくお願いします。続いて、教育長諸報告を教育次長よりさせていただきます。

○浅野教育次長

(資料により説明)

○三ツ教育長

以上、報告させていただきましたが、委員の皆さんからご質問ご意見ありますでしょうか？

よろしいでしょうか？では続いて日程第4の付議事件に移ってまいります。

議案第11号、令和7年度真庭市教育基本方針についてお願いします。

○浅野教育次長

(資料により説明)

○三ツ教育長

ただいま、改定の趣旨等も含めて、説明をさせていただきました。委員の皆さんからご質問、ご意見ありましたらお願いします。

○徳山委員

とても簡潔でよくまとまっていると思ってます。具体的な内容についてはま

た別途出てくると思うんですが、大枠としてはすごくいいなと思っています。

その中で2件、1つは、PTAのこと、もう一つ、(2)で「ライフキャリア教育の実質化」という表現があって、これについて勉強不足でよくわからなかったんですが、より実効性のあるものにしていこうということなのかなと捉えました。

そこで、具体的には教育現場でどう取り組んでいくのか、そして、すべての教育活動でどのように取り組むのかということが、その実質化につながっていくのかなというふうに思います。

そうすると、それぞれの学校でのその時その時の思いつきで教育活動をやっていく、教育するのではなく、横断的、縦断的な指導計画が必要になるのかと思います。もしそうになると、現場としては、この指導計画等はとても大変な作業になってくると思うのですが、本当に本腰を入れてやっていこうとすれば、今後考えていかないと実質化にはつながっていかないのかなと思いますので、今年度だけじゃなくても、これから先通してそういうことも考えていく必要があると思いました。

それから、(3)のところですが、先ほど言われたPTA活動の見直しのところ、具体的には、どういう内容をどのように、というところを少しでも今思い当たることがあったら教えていただけたらと思います。以上です。

○浅野教育次長

ありがとうございます。キャリア教育の実質化というところですが、実際、体制や役割分担といった具体的なところまで詰めて書いているわけではなく、あくまでも方針ですので具体的なところは先ほどおっしゃられたようなご意見を踏まえて、まずは取り組めるところから取り組んでいきたいと思っております。それから、これは社会に出てからも引き続きの話ですので、生涯学習の理念ということを含め、検討をしていかなければいけないと考えております。

それから(3)にあるPTA活動についてですけども、こちらの方はまだ、内部で具体的に詰めをしているわけではありません。PTAは任意団体ですが、今

後自発的に動いていくという兆しがありますので、そのような情報を集め、こういった連携、学校・家庭・地域にどういつながりというか、広がりを持てるような教育環境を作っていけるのかということを PTA の議論を注視しながら、具体的な取り組みにつなげていきたいと思っております。

○徳山委員

ありがとうございます。これから具体的にこうなっていくように考えていただけたらありがたいと思います。

○三ツ教育長

ライフキャリア教育っていうのは、今まではキャリア教育、どちらかという職業教育の傾向が強かったじゃないですか。そこで、ワークキャリア教育、既存の仕事とどう結ぶかではなく、地域の魅力的な大人が最大の教育資源なのだから、その魅力的な大人たちと出会って一緒に考えたり、一緒に活動したり一緒に学んだりということを教育課程内外で大事にしていかなないと、職業ばかりで言っていると、結局選択肢は田舎は狭いわけであって、この地域ってやりたい仕事ないよねで終わってしまうのではないかな。だから出ていく。それも良いのですが、そうでなく、この地域ってやりたいことが生まれて、実は何でも応援される地域なんだっていうのを体感していかなないと、子供の豊かさって育っていないよねっていう議論をしています。その中でライフ、要するに生き方、それを一緒に体感していけたらいいね。それは教育課程の中だけじゃなくて、外も含めてっていうことです。

PTA に関しては、要望活動とかいろいろあるじゃないですか。別に学校の御用聞きのための PTA があるのではないっていう話を私はさせてもらっています。PTA っていうのは社会教育団体なんだから、親同士がつながって、あるいは関係者がつながって、ともに楽しんだり学んだりっていうことを軸にしていかなないと。全国的にもすごく今 PTA がなくなっていったるじゃないですか。だから、そういう自治というかな。それを一緒に考えていきましょうという話をしてい

ます。

その他いかがですか、お願いします。

○常本委員

頭の中真っ白にして、これをずっと読んでみたんですが、イメージが湧きにくかった言葉があって、(1)の2行目のところの「自分のやってみたい」「好き」これ毎年出る気がするが、この「好き」はどんなイメージで捉えればいいのか。自分が好きなことをするということなのか、ということがひとつ。それと。次の(2)のところの「四つの段階を踏まえて」「探求的な学習を通じて」とあるのですが、「体験・浸る」から「知る・伝える」これはわかります。それから、「行動で貢献する」と「未来を描く・結ぶ」の「浸る」「結ぶ」とかいうのが、どういうふうにイメージしたら良いのかと思う。何となくわかるんですが。この四つの発達段階によって四つの段階を踏まえるというのが見えてくるのかなと思ったんで。その辺りのことを教えてもらえたらと思います。

○浅野教育次長

最初のイメージが湧きにくい言葉の「やってみたい。好き。」というところですが、そこまでの深い意味合いを持って書いたわけではなく、単純に何かに取り組みたいと思ったことをちゃんと実現できるような、そういうふうな社会ができればいいということで、こういう単純な書きぶりにしています。特にそれ以上でもそれ以外でもないというか、単純にわかりやすい言葉を選んでということです。

次の「発達段階に応じた」「体験・浸る」といったところですが、そのイメージ「四つの段階」ですよね、発達に応じた四つの段階ということで、それぞれ、このかぎっかこで結んだ4つを並べているわけですが、そういう「体験・浸る」の浸るというイメージというのが、そういう環境に囲まれているような、周りの人たちの活動の中に、自分が囲まれていて、それを見たり、感じたり、そういったことが日常的にできているというようなイメージを単純化するというか、

表現したものをになります。

最後の「未来を描く、地域を結ぶ」というところも、「結ぶ」というのは結局、いろんな学びを経験しながら、そのステージステージにおいて自分の夢も変わってくると思うんですね。そうしたものを、夢を追い続けられる。そうすることによって、自分のいわゆるキャリアパスと言いますか、そういったものがちゃんと目標に向かってつながっていくということもありますし、そういった自分自身の中の目標の結びというだけではなくて、よく人と人とのつながりと言いますか、例えば、自分の学んだことが、他者への貢献につながるなど、そのような広がりをイメージして、表現をしていると解釈して載せております。

○三ツ教育長

いかがですか？

○常本委員

自分が学校の代表者だとして、これをいただいて、自分の学校はどの段階のことをやっていくのかいうのを考えた時に、具体的に表現しようとした時に……。わかるんですよ。小さいときはしっかり体験をする。地域とこうつながりながらも遊ぶ。そして勉強することによって知ること。定着するためには、知ったことを人に伝えることで定着していく。そして今度は知ったことを使って行動する。できれば貢献ができたらいいい段階になり、そして自分の未来をデザインする。高校といった年齢になればそして地域とこうつながる、結ぶという。

それを具体的な教育活動として挙げていくとした時に、しっかり、これがこっちに入ってこないと具体的なことにならないので、探求的な学習とか、日々の授業とかをこうどうつないでいくのかという、学校や教育活動をデザインしていく時に、自分がこう納得できたらいいなと思いました。単純の言葉でいいんですが、より入りやすい方が良いと思う。説明するときにそのような感じの説明があった方が、先生方には分かりやすいかな。ぼやっとはわかるのですが、こうこう腑に落ちるといえるのか、そうだなという。そうしないと子供たちには力

教育長も言われたけれど、キャリア教育がもう以前からずっと誤解されてるので、本当の意味のキャリア教育ものを、今実践しようとしているのだから、やっぱり探求的な学習というものをしっかりやっていくということ。それと今、子供たちが自分の心をコントロールする力が弱くなってきてるので、そういう意味では、インクルーシブ教育にもつながってくるのかも分からないが、そういう心の成長のところをこう拾い上げる先生方も必要になってくるのではないかなと、そしてやっぱり基礎的な勉強をしっかりしてほしいと、それを支える地域であるし、PTA であり、親でありという。こう。スーッと、こう行けばやることがふっと入ってくるとなれば、学校にすごく定着していく。より良くなっていくのではないかなと思って。我々もまた、次の段階の方にもいけるということが見えてくるのではないかなという。

○三ツ教育長

○浅野教育次長

9

どもに夢を持たせるための教育の実現に向けた取り組みをどう表現していくのかという、今まさに、同じことを言われたのかな。今回、そこも意識した書きぶりではあるのですが……。今日言われたことは、全体の、その教育の流れいかですね、そうした組み立ての根幹の部分だと思いますので、そのところは次の教育振興基本計画にも反映していければと思っております。今回、教育基本方針は、ぶつ切りと言いますか、それぞれの三つの柱に分けて書いておりますので、ぶつ切りになるところはどうしても否めないんですが、今日いただいたご意見は、次回の進行基本計画の方の理念のところ、しっかりと入れて、わかりやすい表現で、市民の方にもお伝えできたらと思います。

○三ツ教育長

ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

○徳山委員

常本委員さんの話を聞いていて、引っかかったところがあつて。

この文章の「体験、浸る」など四つがありますよね。この四つは、幼稚園園児なら園児なりの、小学生なら小学生なりに中学校な中学生なりに、高校生なら高校生なりに四つのことを考えてやると思うんですが。ここの文章に「四つの段階を踏まえて」とあるので、この書き方だったら幼稚園児は「体験・浸る」の段階で、何とかは何とかでという風な感じに受け取れるので、この「段階」という言葉を「視点」というふうに変えてはどうかなと思ったんですけど、思いつきです。

○浅野教育次長

ご意見ありがとうございます。今のご意見も踏まえてですね、書きぶりの方は、検討をさせていただきます。個々の小さなスパンでの学びの中にも、やっぱりこういった、例えば 50 歳の学びの中でも、学びの段階っていうのは多分あるんだろうと思ひまして。それぞれがどういった発達段階にあるかというのは、

それぞれ個人個人によって違うということもありますし。今言ったような長いスパンの話と、短いスパンの話もありますので、そうした意味で、私の方では「段階」という表現にさせていただきました。「小学生だからこの段階」とかいう意味では、決してないので、それが伝わるような表現に変えられればよいと思っています。

○三ツ教育長

ということよろしいですか？いわゆるその学齢期で、こうブツブツ切ってるっていう意味ではないんだってということではあるんですが、うまい伝わり方がすればいいなとは思いますが。

○浅野教育次長

多分、最初の出だしのところが、幼児期から高校期までという書きぶりがあるのが多分そういう印象を与えるのかなと思いますので。そこも含めて見直したいと思います。

○三ツ教育長

ありがとうございます。その他いかがでしょうか。これは今日採決しないといけないですよ。

○浅野教育次長

昨年はは修正させていただいて、5月にいただいたと思いますけども。

○三ツ教育次長

それでは、先ほどの表現については。しかし、表現が変わったら変わるからね。次に送っても大丈夫？

○浅野教育次長

前回は送らせていただいております。

○三ツ教育長

今年も大丈夫ですか？

○浅野教育次長

そうですね。委員会までに書面でとか。

○三ツ教育長

それでは、一部表現を変えさせていただいて。書面にて、変えるというか、検討させていただき、回覧させていただくということでもよろしいでしょうか。それにてご審議いただくということで。よろしいですか？

○全員

はい。

○三ツ教育長

それでは、そのようにさせてください。では、ここではこれは保留ということとでよろしくをお願いします。

それでは。次に移ります。議案第12号です。真庭市学校運営協議会の設置及び委員の任命についてよろしくお願いします

○田中学校教育課長

(資料により説明)

○三ツ教育長

説明がありました。委員の皆さんからご質問、ご意見ありますでしょうか？

教育委員会が任命するという形になっているので、ここで議決をいただくと

いう形になります。非常勤特別職という取り扱いです。AさんBさんといわれてもわかりませんよね。

○常本委員

いいですか？学校で会議は何回ぐらいやっていますか。

○三ツ教育長

お願いします。

○田中学校教育課長

報酬の支払いとしては最大5回とさせていただいているのですが、実際は多いところは7回とか8回とかっていうところもありますし、我々が企画する教育講演会が、今年は5月21日に予定していますが、それ以外にも、会長さんの研修をこちらに年2回来ていただいたりというような形で、様々な活動をしていただいているという状況です。

○三ツ教育長

よろしいですか。その他いかがですか？

それではお図りをいたします。議案第12号、真庭市学校運営協議会の設置及び委員の任命についてご異議ございませんか？

○全員

はい。

○三ツ教育長

それでは異議なしということで原案可決でお願いします。

続いて議案第13号保有個人情報の不開示決定処分に関する審査請求にかかる採決及び議案第14号保有個人情報の一部開示決定処分に対する審査請求にか

かる裁決についてですが、これは、個人情報に関わることもありますので、教育委員会会議規則第 12 条第 4 項に基づいて、非公開という形でさせていただきたいと思いますがよろしいでしょうか。

○全員

はい。

○三ツ教育長

それでは、議案第 13 号及び議案第 14 号につきましては、非公開にてお願いをします。

○三ツ教育長

続いて日程第五その他です。委員の皆さんから何かありますか？

では、事務局より何かありますでしょうか。日程はよいですか。

○浅野教育次長

・第 7 回教育委員会 6 月 18 日（水）9：30

○三ツ教育長

よろしいでしょうか。その他事務局より何かありますか。それでは、以上で教育委員会会議を終了いたします。

（10 時 40 分 閉会）

議案第 11 号は、会終了後、内容を修正したものを教育委員、教育長が確認し、同日中に、修正可決となる。